

公立阿伎留医療センター



公立阿伎留医療センターは東京の西部、秋川流域の地域医療と、救急医療を担う中核病院として、平成18年より新病院で診療を行っています。

あきる野市はここです



交通案内



新宿よりJR中央快速線、青梅線で拝島、または西武線で拝島
拝島よりJR武蔵五日市線、
武蔵引田駅より徒歩5分

圏央道、日の出インターから車で3分、あきる野インターから車で7分

北側に接して巨大ショッピングモールがあります。



南東側には、SRL検査センター、
南西側には武蔵引田駅があります。



南東側には、SRL検査センター、
南西側には武蔵引田駅があります。



公立阿伎留医療センターの沿革

- ▶ 大正12年 6月 9日 西阿伎留村外四ヶ町村病院組合を設立
- ▶ 大正14年 4月10日 単独伝染病院を開院
- ▶ 昭和27年 3月27日 一般6床、結核114床、伝染55床に変更
- ▶ 昭和44年12月 4日 一般140床、結核56床、伝染34床に変更
- ▶ 昭和47年 3月31日 新病院に移転。
- ▶ 昭和58年 4月14日 総合病院の承認
- ▶ 平成 9年 8月26日 東京都災害時後方医療施設、災害拠点病院（国）
- ▶ 平成15年 5月 1日 単独型臨床研修病院として医師臨床研修を開始
- ▶ 平成17年 8月22日 病院機能評価（Ver4.0）の認定
- ▶ 平成18年 8月 1日 公立阿伎留医療センターに改称し新病院を開院
- ▶ 平成22年 8月22日 病院機能評価(ver6.0) 更新認定
- ▶ 平成27年 8月22日 病院機能評価(機能種別評価項目3rdG:ver1.1)

主たる機能：一般病院2 副機能：緩和ケア病院 認定

病院の理念

公立阿伎留医療センターは、
医の心を重んじ、患者の生命と健康と
生活の質を考える良質の医療を実践し、
地域医療の最適化に努力します。

基本方針

1. 患者中心の医療の確立

患者の権利・尊厳を大切にし、安心・安全・納得の得られる全人的医療を提供します。

2. 医療の質の維持・向上

根拠に基づいた高水準の医療を実践し、医療の質の維持・向上に努めます。

3. 地域医療の連携と機能分担の推進

地域の中核病院として、医療・保険・福祉施設との連携と機能分担を推進し、地域と社会に貢献します。

4. 医療環境の改善

職員が働きやすく、豊かな人間性と高い倫理性に満ちた医療環境をつくります。

5. 健全経営の確保

公営企業の本旨を発揮し、経営の効率化と健全化を図り病院の自立に努めます。

診療実績

- ▶ 医師数 常勤医 57名、非常勤医 89名
- ▶ 診療科 26科
- ▶ 病床数 305床
- ▶ 平均入院患者数 206.3人/日
- ▶ 外来患者数 603.4人/日
- ▶ 手術件数 4,960件

医師数等：R8(2026).4.1現在
患者数等：R7(2025)度実績

専門医制度教育指定

- ▶ 臨床研修指定病院（基幹型）
- ▶ 日本内科学会認定教育関連病院
- ▶ 日本循環器学会専門医研修施設
- ▶ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ▶ 日本静脈経腸栄養学会時実地修練認定教育施設
- ▶ 日本リウマチ学会認定教育施設
- ▶ 日本外科学会外科専門医制度修練施設の関連施設
- ▶ 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- ▶ 日本脳卒中学会認定研修教育病院

- ▶ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ▶ 日本整形外科学会認定医研修施設
- ▶ 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ▶ 日本眼科学会専門医研修施設
- ▶ 日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
- ▶ 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ▶ 日本リハビリテーション医学会研修施設
- ▶ 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ▶ 日本超音波医学会専門医研修施設
- ▶ 日本臨床細胞学会認定施設

常勤医の内訳

▶ 内科	2名
▶ 呼吸器内科	1名
▶ 消化器内科	4名
▶ 循環器内科	4名
▶ 腎臓内科	2名
▶ 血液内科	2名
▶ リウマチ科	3名
▶ 小児科	1名
▶ 救急科	1名
▶ 総合診療科	1名
▶ 外科	4名
▶ 乳腺外科	2名
▶ 呼吸器外科	1名

▶ 整形外科	5名
▶ 脳神経外科	3名
▶ 皮膚科	2名
▶ 泌尿器科	2名
▶ 産婦人科	1名
▶ 眼科	1名
▶ 麻酔科	5名
▶ 緩和ケア科	2名
▶ 歯科口腔外科	2名
▶ 放射線科	1名
▶ 臨床研修医	5名

R8.4.1現在

研修医の待遇

1. 身分：常勤職員
2. 給与：1年次：450,864円（宿日直手当、通勤手当別途支給）
2年次：484,192円（同上）
3. 勤務時間：原則8時30分より17時15分まで
4. 当直：指導医と共に当直する（平均夜間：4回/月、日直：1回/月）
5. 社会保険：あり（共済組合・雇用保険・労災保険）
6. 医師賠償責任保険：病院で加入（個人負担なし）
7. 学会、研修会への参加可、規定内で参加費用支給あり
8. 休暇：年次休暇 20日/年 夏季休暇： 4日/年
年末年始休暇：12月29日から1月3日まで

初期研修プログラム

基本プログラム

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						救急			選択科目		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2年次	地域医療	精神科	選択必修			選択科目						

地域医療：檜原診療所、葉山医院、馬場内科クリニック、近藤医院、草花クリニック、小机クリニック、あきるの杜きずなクリニック

精神科：高月病院

救命救急センター：日本大学医学部附属板橋病院

救急系に進んだ場合のローテーション例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科(感染症)		内科(糖尿病)		内科(呼吸器)		内科(消化器)		救急	脳神経外科		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2年次	麻酔科	地域医療	精神科	皮膚科	緩和ケア	小児科	産婦人科	救急	脳神経外科	内科(循環器科)		救急

精神科研修 高月病院



地域医療

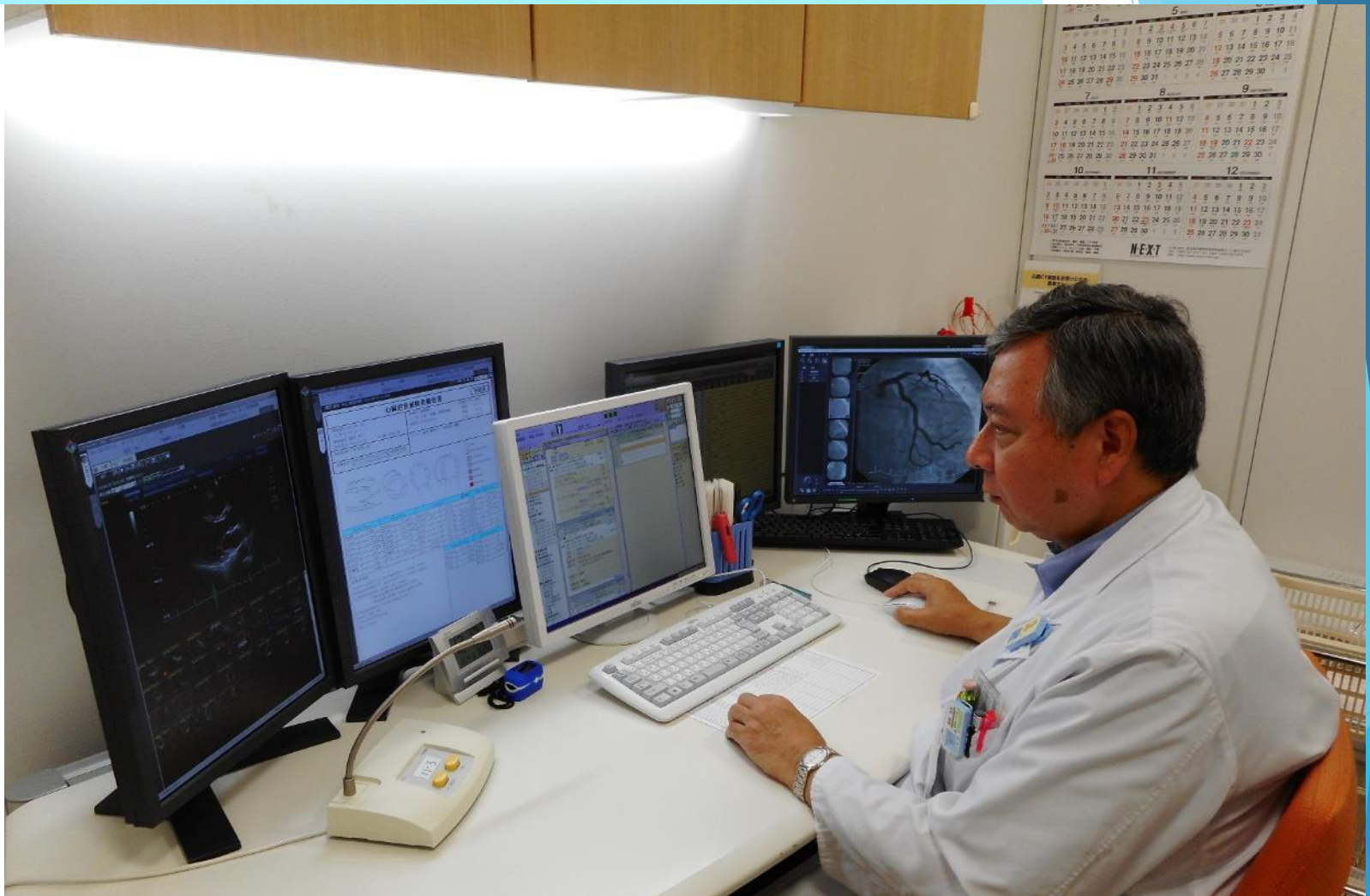
檜原村の診療所



日の出町の
クリニック



電子カルテ



最新版の電子カルテを使用して診療を行い、
動画サーバーも設置されています。

病棟



医局



医局秘書さん
にもお世話に
なります

各自のデスクで自分のPCの
Wi-Fi接続ができ、プリンター
にも接続されます。

全科の先生が一部屋の医局です。
研修医の席は入り口付近に配置され、
コンサルテーションも気軽に出来ます。



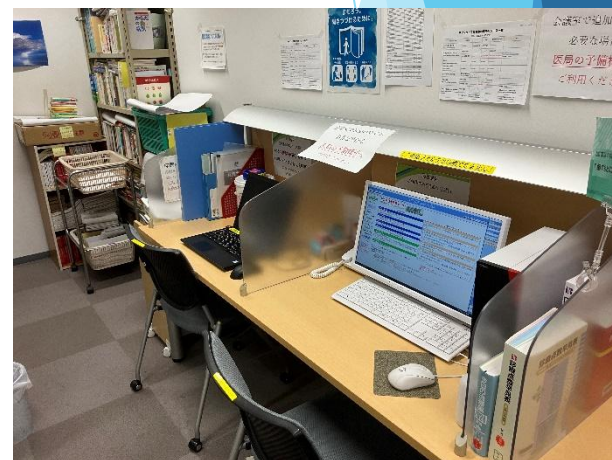
図書室



司書さんにお申し渡すと、図書室にない文献の取り寄せもスムーズに行えます。



ちょっとした打ち合わせも出来ます。



電子カルテPC・インターネットPCも設置してあります。

当直室



男女別に分けられており
当直明けにシャワーも浴びられます。

内科カンファレンス

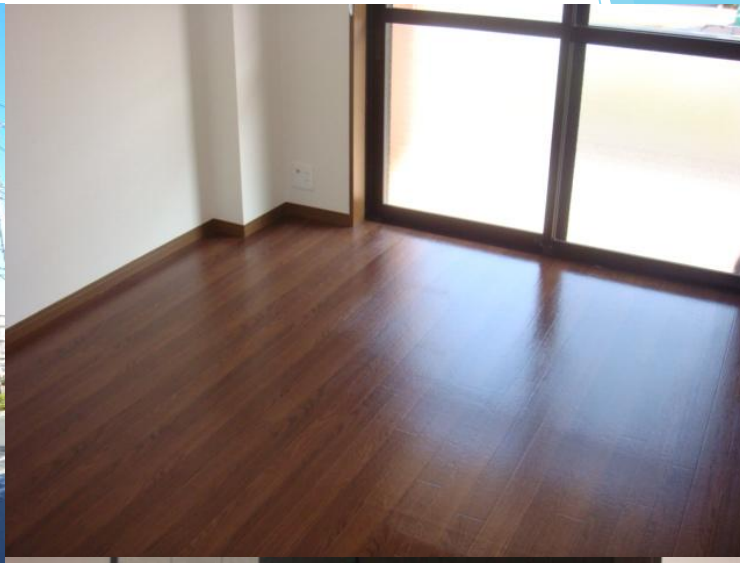


火曜日の朝は抄読会、夕方には症例検討会が行われ
研修医は毎週症例提示を行います。

オリエンテーションでのBLS実習



研修医宿舎の1例



病院から斡旋され、毎月40,000円補助が出ます。

研修医宿舎の1例



病院から斡旋され、毎月40,000円補助が出ます。